年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　芸術　　科目 音楽Ⅲ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅲ　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　６組

教科担当者：依藤久美子

使用教科書：（ Joy of Music ）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅲ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・基礎的な発声を理解して歌う。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌詞や曲想にあった表現を工夫して歌う。	【歌唱】 ・群青 ・世界はあなたに笑いかけている ・いのちの名前	○			○	・基礎的な発声を理解して歌っている。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌詞や曲想にあった表現を工夫して歌っている。	○	○	○	10
	・音楽を表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【キーボード】 ・マリーゴールド	○	○		○	・音楽を表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	10
	・他者との調和を意識して表現する技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【アンサンブル演奏】		○	○	○	・他者との調和を意識して表現する技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	10
2学期	・音楽を表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【ギター】 ・となりのトトロ		○			・音楽を表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	10
	・他者との調和を意識して表現する技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【アンサンブル演奏】		○	○	○	・他者との調和を意識して表現する技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	20
3学期	・他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌詞や曲想にあった表現を工夫して歌う。	【合唱】 ・混声二部合唱	○				・他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌詞や曲想にあった表現を工夫して歌っている。	○	○	○	10
											合計 70